

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

資料5

山梨県地域公共交通計画の評価等結果（令和6年4月～令和7年3月）

目標		目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
法定の 定量目標	1. 法定目標のうち利用者 の数の数	1-1. 広域生活交通ネットワーク指定路線の乗車人数（鉄道） 目標値：現況値 15,584,924人（令和3年度）×人口増加率※1以上 →15,512,973人以上	県資料	17,920,787人（令和4年度） ・各取組の実施や新型コロナの5類移行後の人流活性化により、鉄道の乗車人員は増加した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道の乗車人員、バスの輸送人員ともに、新型コロナの影響からは順調に回復しつつある。</li> <li>・また、バスの輸送人員の回復や運賃の改定により、国・県協調補助路線の収入額も回復しつつある。</li> <li>・一方、国・県協調補助路線の実車走行キロあたり運行経費は、物価上昇率以上に上昇しており、国に対して、燃料物価高騰も踏まえた補助金の算定基準の見直し等について引き続き要望していく。</li> <li>・全体としては、赤字幅が縮小しており、財政負担額も低下傾向にある。</li> <li>・引き続き、広域公共交通ネットワーク指定路線の確保維持に向けて、公共交通の利用促進など様々な取り組みを実施していく。</li> <li>・長期的には、リニア中央新幹線の利用者数や停車本数増加の好循環を生み出し、開業効果を最大化するとともに、次世代モビリティ等も活用し、交通弱者にも配慮した新たな公共交通網の構築に向けた研究等を行っている。</li> </ul>	
		1-2. 広域生活交通ネットワーク指定路線の輸送人員（バス） 目標値：現況値 3,356,463人（令和4年度）×人口増加率※2以上 →3,308,709人以上	輸送実績報告書	4,297,782人（令和6年度） ・各取組の実施や新型コロナの5類移行後の人流活性化により、バスの輸送人員は増加した。		
	2. 法定目標のうち収支	2-1. 国・県協調補助路線の収入額 目標値：現況値 482,711,842円（令和4年度）×人口増加率※2以上 →475,844,089円以上	県資料	841,121,464円（令和6年度） ・バスの輸送人員の増加及び運賃の改定により、国・県協調補助路線の収入額は増加した。		
		2-2. 国・県協調補助路線の実車走行キロあたり運行経費 目標値：現況値 400.79円（令和4年度）×物価上昇率※3以下 →425.25円以下	県資料	430.90円（令和6年度） ・燃料等の物価高騰の影響などにより、物価上昇率（甲府市消費者物価指数（総合指数））以上に運行経費は上昇した。		
3. 法定目標のうち国または地方公共団体の支出の額	公共交通に対する県財政負担額 目標値：現況値 157,969千円（令和4年度）以下	県資料	118,535千円（令和6年度） ・燃料等の物価高騰の影響もあったが、バスの輸送人員の増加や運賃の改定により収支が改善しつつあり、県財政負担額は減少した。			
計画の 達成状況	4. 県民の活動機会が保障されているか。（通学）	各市町村において、市町村の代表的な駅・バス停から、令和2年時点で15歳以上の通学者のうち10%以上が通学している自治体の主な高校への通学機会が保たれている市町村の数 ◎2 ○22 △1 ×2（令和5年度）→○以上25 △以上27	別紙参照 市町村に定例の確認を依頼	◎2 ○22 △1 ×2 ※○以上24 △以上25（令和6年度） ・目標設定時の状況が保たれているが、目標には達していない現況となっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山梨県地域公共交通計画及び県内市町村の地域公共交通計画の策定・推進により、各地域での公共交通サービスの見直しなども進みつつあり、一定程度、県民の活動機会が保障されている状況となっている。</li> <li>・通学については、目標に達していないが、市町村による地域公共交通計画の策定等に対し、助言などの支援を行い、目標達成に努めていく。</li> <li>・長期的には、リニア中央新幹線の利用者数や停車本数増加の好循環を生み出し、開業効果を最大化するとともに、次世代モビリティ等も活用し、交通弱者にも配慮した新たな公共交通網の構築に向けた研究等を行っている。</li> </ul>	
	5. 県民の活動機会が保障されているか。（通院）	各市町村において、市町村の代表的な駅・バス停から、属する二次医療圏の最寄りの二次救急病院に通院する機会が保たれている市町村の数 ◎16 ○10 △1 ×0（令和5年度）→○以上26 △以上27	市町村に定例の確認を依頼	◎16 ○10 △1 ×0 ※○以上26 △以上27（令和6年度） ・目標設定時の状況が維持されており、目標（現状維持）を確保できている。		
	6. 県民の活動機会が保障されているか。（買い物）	各市町村において、市町村の代表的な駅・バス停から、属する商圏の中心自治体にある山梨県都市計画マスタープランに示された拠点のうち、最寄りの拠点で買い物をする機会が保たれている市町村の数 ◎4 ○21 △2 ×0（令和5年度）→○以上25 △以上27	市町村に定例の確認を依頼	◎4 ○21 △2 ×0 ※○以上25 △以上27（令和6年度） ・目標設定時の状況が維持されており、目標（現状維持）を確保できている。		
	7. 広域生活交通の運営は、県民の活動機会保障という目的に対して効率的か	県が関与する補助路線の1人キロあたり運行経費 103.81円（令和4年度の平均） ※平均値に対する目標無し ※400円を上回る路線については見直し	県資料	94.118円（令和6年度の平均） ※400円を上回る路線なし ・燃料等の物価高騰の影響もあったが、各取組の実施や新型コロナの5類移行後の人流活性化により、1人キロあたりの運行経費（平均）は低下した。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・1人キロあたり運行経費が改善しており、令和4年度よりも効率的な運行が実現している。</li> <li>・引き続き、注視していく。</li> </ul>
	8. 広域生活交通は、交通弱者に活用されているか	県が関与する補助路線の、路線キロあたり輸送人数 目標値：0.8166人（前年度：令和5年度）×人口増加率※4以上 →0.8111人以上	県資料	0.8731人（令和6年度） ・各取組の実施や新型コロナの5類移行後の人流活性化により、補助対象路線のあたりの路線キロあたりの輸送人員は増加した。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗車人員の回復により、路線キロあたり輸送人員は順調に回復しつつある。</li> <li>・引き続き、改善に努めていく。</li> </ul>

※1：人口増加率＝801,620人（令和4年10月1日現在）÷805,338人（令和3年10月1日現在）

※2：人口増加率＝790,215人（令和6年10月1日現在）÷801,620人（令和4年10月1日現在）

※3：物価上昇率＝107.8（甲府市消費者物価指数（総合指数、令和6年平均））÷101.6（甲府市消費者物価指数（総合指数、令和4年平均））

※4：人口増加率＝790,215人（令和6年10月1日現在）÷795,544人（令和5年10月1日現在）

※「県民の活動機会が保障されているか。」の指標

◎：自市町村内完結 ○：結ぶ必要のある市町村に対する活動機会がすべて保たれている

△：結ぶ必要のある市町村に対する活動機会が少なくとも1市町村について保たれている

（買い物については、少なくとも1市町村・1時間滞在について保たれている）

×：結ぶ必要のある市町村に対する活動機会がまったく確保されていない

目標を達成するための取組（令和6年度の主な取組）

【別紙】

	取組	主な実施主体	内容	関連指標
公共交通全般	やまなし公共交通フェスティバルの開催	県等	県民の皆様に、バスやタクシー、鉄道などの公共交通に関心を持っていただき、多くの皆様にご利用いただくためのイベントを開催 ・開催日：令和7年1月25日 ・会場：甲府駅北口アシストエンジニアリングよっちゃばれ広場	1-1, 1-2, 2-1, 7, 8
	やまなしエコ通勤・エコ通学トライアルウィークの実施	県等	環境にやさしい徒歩や自転車、公共交通、相乗り等のエコ通勤・通学への転換に期間限定でチャレンジするキャンペーンを実施 ・実施期間：令和7年3月3日～3月9日	1-1, 1-2, 7, 8
	県内市町村へ向けた次世代交通勉強会の開催	県等	県内のAIデマンド交通の導入事例や自動運転の実証運行事例等をテーマとした勉強会を開催 ・開催日：令和6年12月24日	2-2, 4, 5, 6, 7
	リニアやまなし県央エリア・モビリティハブ研究会事前勉強会の開催	県等	国の施策におけるモビリティハブの位置付け等をテーマとした勉強会を開催 ・開催日：令和6年10月10日	1-1, 1-2, 2-1, 7, 8
	峡南地域ネクスト共創会議公共交通網WGの開催	県、峡南5町	各町の地域公共交通計画や公共交通の現状等について、情報交換・意見交換を実施 ・開催日：令和7年3月11日	4, 5, 6
	市町村による地域公共交通計画の策定	市町村	策定済み：14市町（令和6年度末） ・令和6年度に策定：甲斐市、身延町、富士川町	4, 5, 6
	各市町村の公共交通利用促進施策の情報共有	県等	各市町村が実施している公共交通利用促進施策について県で取りまとめ、情報共有を実施	4, 5, 6
鉄道関係	鉄道通学支援による人口転出抑制実証事業の実施	県、関係市町村	進学を契機とした転出抑制に向けて鉄道通学定期券の購入費用を支援する市町村に対し、県が助成 ・令和6年度実績：12市町 15,904千円	1-1
	JR中央線における早朝特急「かいじ70号」の運行開始	JR東日本	平日朝の通勤・通学等に便利な臨時特急「かいじ70号」の運行開始 ・令和7年3月17日運行開始 ・甲府駅5:40発、新宿駅7:29着、東京駅7:45着	1-1
	JR中央線におけるグリーン車サービスの開始	JR東日本	快速列車におけるグリーン車の導入完了、サービス開始（県内は、大月以東） ・令和7年3月15日サービス開始	1-1
	JR身延線におけるサイクルトレインの実証実験	JR東海	JR身延線において、特急「ふじかわ」等を活用したサイクルトレインの実証実験を実施 ・実施日：令和6年5月26日	1-1
	「かいじ70号」の運行開始にあわせたダイヤ改正	富士山麓電気鉄道	「かいじ70号」の運行開始にあわせて、河口湖駅始発列車の運行時間の繰り上げを実施 ・改正前：河口湖駅5:26→大月駅6:19発 ⇒ 改正後：河口湖駅5:21→大月駅6:10（「かいじ70号」は大月駅6:16）	1-1
	期成同盟会等における要望活動の実施	期成同盟会等	中央東線高速化促進・定時性確保広域期成同盟会による要望活動（ホームドア設置等の定時性確保に資する取組など）の実施 等	1-1
バス関係	広域的・幹線的バス路線に対する県の運行支援等	県	山梨県バス運行対策費補助金等：118,535千円（令和6年度実績）	3
	山梨県小学生バス無料デーの開催	県バス協会、山梨交通、富士急バス等	山梨県在住の小学生を対象に、県内を運行する路線バス（一部対象外あり）に無料で乗れるキャンペーンを実施 ・実施日：令和7年2月1日・2日	1-2, 7, 8
	お試し運賃「こども50円・学生100円運賃」の実施	山梨交通	学休日に、こども50円（小学生）、学生100円のお試し運賃を実施 ・夏休み：令和6年7月20日～8月25日 ・冬休み：令和6年12月27日～令和7年1月6日 ・春休み：令和7年3月25日～4月6日	1-2, 7, 8
	生活実態等を考慮したコミュニティバスのダイヤ改善等	市町村	【南アルプス市】コミュニティバスのfumottoへの乗り入れ検討	4, 5, 6
			【北杜市】若神子新町境之澤線：一部の便が日野春駅へ延伸、黒森江草線：「若神子西」バス停を新設 ※令和6年10月1日改正	4, 5, 6
			【甲州市】甲州市縦断線：「日下部警察署塩山分庁舎」「ナカヤ前」バス停を新設 等 ※令和6年11月1日改正	4, 5, 6
	自動運転バスの実証実験	市町村	【富士吉田市】富士スバルライン（令和6年11月10日～11月19日）及び富士みち（令和7年1月30日～2月28日）において実施 【甲斐市】令和7年3月27日～29日に、甲斐市民バス山梨大学医学部附属病院線の一部区間において実施	2-2, 4, 5, 6, 7, 8 2-2, 4, 5, 6, 7, 8
	高校生向けバス時刻表の作成・配布	県	高校生によるバス通学を促進するため、高校生向けのバス時刻表を作成・配布を実施	1-2, 2-1, 7, 8
やまなしバスコンシェルジュの運営	県バス協会等	バス車両に設置しているGPS端末の機能を活用し、停留所の位置や時刻表、バスの運行経路と現在の走行位置等の様々な情報をスマートフォンなどに提供するシステムを、継続運営	1-2, 2-1, 7, 8	
コミュニティバス等のGTFSデータ整備の実施	県、市町村等	GTFSデータ化の整備が進んでいない一部のコミュニティバス等を対象に、データ整備を実施	1-1, 2-1, 4, 5, 6, 7, 8	
鉄道・バス関係	「富士急 電車・バス小学生無料デー」の開催	富士山麓電気鉄道、富士急バス	富士急行線沿線活性化促進協議会を構成する市町村に在住する小学校及び支援学校の児童を対象に、1日無料乗車券を配布 ・実施日：令和7年1月26日	1-1, 1-2, 7, 8
タクシー関係	ユニバーサルデザインタクシー導入に対する県の支援	県	ユニバーサルデザインタクシー導入促進事業費補助金：600千円（令和6年度実績）	1-1, 1-2, 7, 8
	日本版ライドシェアの導入	タクシー事業者	甲府交通圏、東八・東山交通圏、東部・富士北麓交通圏において、令和6年12月末から順次開始	1-1, 1-2, 7, 8
デマンド交通関係	実証運行に向けた計画策定	市町村	【中央市】デマンド交通実証運行実施計画の策定	4, 5, 6
	実証運行の実施	市町村	【甲府市】令和6年7月1日～11月29日にAIデマンド型乗合タクシー「こうふデマンドタクシー」の実証運行を実施	4, 5, 6
			【都留市】令和7年2月18日～2月28日にAIデマンド交通（一部の高齢者団体が対象）の実証運行を実施	4, 5, 6
			【山梨市】令和6年4月18日～令和7年3月31日にAIデマンド交通の実証運行を実施	4, 5, 6
			【大月市】令和6年4月1日～令和7年3月31日デマンドタクシーの実証運行を実施	4, 5, 6
			【甲斐市】令和6年11月1日～12月22日にAIオンデマンド交通「かいのり」の実証運行を実施	4, 5, 6
			【笛吹市】令和6年1月15日～令和7年3月31日に、AIデマンド交通「のーと笛吹」の実証運行を実施	4, 5, 6
本格運行の開始	市町村	【韮崎市】令和7年2月3日より、韮崎市民バス竜岡線にAIオンデマンドバス「韮崎のーと」を導入 【北杜市】令和6年10月1日より、明野エリアにおいてデマンドバスを導入	4, 5, 6 4, 5, 6	